

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

5月号(N08)通巻 158号

2019年5月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】楽しい菜園にしたい!

○今年も陶炎祭が行われている。車の混雑を考え敬遠している。新緑で覆われるような道を走るのが好きだ。日々変化していく水田を見るのも楽しい。水田が日ごとにみどりの絨毯に変わる景観は素晴らしい。元号が令和へ変わる都市部の喧騒に違和を感じる。この田園風景は大事にしたいものである。

○10連休前半は家で過ごす時間が多い。Amazonのリリースで映画を見た。「殿利息でござる」磯田道史原作で羽生結弦選手が殿様役で出てきたのには驚いた。「神様はバリにいる」堤真一主演である。2作品共実話だという“世のため人のため”に頑張る人情が描かれていた。こんな作品が作られ観られる社会がある。いやな人ばかりが目立つが、まだ世の中捨てたものではないと心が和んだ。やはり映画はいい。

○後半は、山下英子の断捨離のテレビ録画を見た。

物軸思考から自分軸思考へを説かれていた。断捨離が進まないの苛立ちの気分になっていたので、早速実行に、多量の物(ゴミではない)の分別をする。5日には石岡・葦穂山麓のパラグライダー初フライトに随行した。“トンビがぐるりと輪を描いた”の飛び方を真似ているという。動植物から学ぶ知恵は多い。高所恐怖もあり止めたが、大爽快で素晴らしかったと聞くと残念な気もした。

○連休は畑仕事とっていたので、農資材の残りの片付け、繁茂始めた草刈りをする。温暖化で遅霜の心配ないようだが、トマト、ナス、などの定植を連休明け後にした。

○草の繁茂の勢いを考え、畑の管理がし易い菜園にして行きたいと思っている。管理し易いと好きな野菜を基本に考えながら進めたいと思う。農作業のベースを整えることも大事だと思う。少しでも頑張って楽しい菜園にしたいと思う。(了)

【菜農】<畑>トマト、ナス、ピーマンなど定植(9日)

隠元、小松菜、赤丸大根の播種(10日)

【菜市】イベント交流・直売など。

○イベントなど; 詩吟例会(11、25日)リボン館講座(13日)TBG総会(17日)、山野草の会(19日)、ごみを考える会総会(27日)、共生の会(2日)、詩吟役員会(8日)川柳の会(9日)



<初フライト>パラグライダーに
随行。米粒が。5日撮影



<絹さや>実を付け始め
る。5日撮影

に参加など。年度替わりは何かと多い。

【つぶやき=Tweet】 ロンドンで温暖化対策を求め抗議！

○地球温暖化については被災が心配されるような異常気候のニュースがあるたびに心配になる。寒暖の激しい気候も気になる。かなり厳しいところまで来ていると思えてならない。ロンドンでは温暖化対策を求め抗議、逮捕者 1000 人超のニュースである（26 日朝日）。①気候変動の情報提供②2025 年までに CO2 実質ゼロ③監視する市民会議創設を要求して抗議行動だと云う。英 BBC によると 30 年まで CO2 実質ゼロでも沖合に 1 万 3 千機の風力発電の追加が必要だとしている。ごみを考える会でも話題になったばかりなので気になった。

○日本では原発に頼り、石炭火力も続ける余地を残し 50 年までに 80%削減の長期戦略などが密室で利害を調整する旧来のやり方で進んでいる。石炭火力全廃の有識者会議の座長案は秘密会合で撤回されたという（同日の朝日）。トランプ大統領のパリ協定離脱もあり、G20 大阪サミットは 6 月である。議長国日本のリーダーシップが気になる。

○「地球儀を俯瞰（ふかん）する戦略的な外交」を掲げた安倍総理は 2012 年 12 月に再登板してから 5 年 8 カ月間の外遊回数は平均で「月 1 回」ペースを維持している。訪問国数は 76 カ国余りなる。10 連休には総理、大臣 12 人が相次いで外遊するという。1 回の外遊で総理が 2 億円で大臣が 3 千万円掛かるという。国の借金が 1100 兆円まで膨らみ続けている。財政事情を考えると次元が違うと言われるのかも知れないが気になる数字である。最近、財政健全化のプライマリーバランスの言葉も聞かれなくなった。麻生財務大臣の手腕が心配される。

○ノートルダム聖堂の火災では経済的支援を表明している。被災で今だに、仮設住宅で厳しい生活を強いられている一方での事への疑問の声も聞かれる。マクロン政権に抗議する黄色いベスト運動のデモが続き「社会的な惨状には何もしないのに、わずか一晩で膨大な金を拠出できることを見せつけた」と高額な寄付を批判。インターネット上では「人間より石が優先されるのか」などと反発が相次いだという。日本の従順な国民性は良いのか分からなくなる。トランプ大統領とゴルフを楽しむ安倍総理の姿を見ると心配になる。環境から経済の話になってしまった。環境と経済は不可分一体の心配ごとなのである。

○断捨離考：やましたひでこ流断捨離の進め方のテレビ録画に触発され、連休は良い機会だと、早速実行した。第一次実行で多量の物を分別した。連休明けの 7 日に廃棄に仕分けた物を搬出した。二次、三次と進めたい。停滞していた断捨離に弾みをつけたい。

【後記】新緑の山々、みどりの絨毯へ日々変化する水田は素晴らしい笠間へ Kogure 農場に。

【特に編集せずランダム構成にする】。



＜大霧紫＞六義園由来のつつじ、笠間の庭で。5 日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸 4 2 0 1 - 1 0

携帯電話；0 9 0 - 9 3 3 3 - 4 1 3 5

HP；kogure 農場

メール；torao-k@nifty.com